



～姉妹都市交流の巻～

市民と共に創

～ベルギー・ビルボールド市姉妹都市40周年記念事業～

石川県小松市国際都市推進課

ビルボールド市姉妹都市 40周年記念事業について

ベルギー・ビルボールド市は、首都ブリュッセル市の北東約15kmにある、面積21km²、人口3万7,000人の都市で、陸路、空路、水路すべてにおいて交通の要衝であり、工業都市として発展しています。ベルギーの北部、オランダ語圏に位置し、主要な言語はオランダ語となっています。

人口約11万人の小松市との姉妹都市提携のきっかけは(株)小松製作所（現コマツ）がヨーロッパでの販売拠点として現地法人を設置したことでした。以来、代表訪問団や文化訪問団の派遣をはじめ、ビルボールド市における桜並木や小松ストリートの整備など、友好関係を育ててきました。

今年はビルボールド市との姉妹都市提携40周年記念にあたり、両市の間では、両市民がより一層相互理解を深められるよう、広く市民交流ができる事業を目指し議論がなされました。その結果幅広い分野にわたる事業企画となったことから、当市ではクレアの地域国際化施策支援事業を活用させていただきました。

he ART Exchange 青少年交流事業

今回姉妹都市提携40周年にあたり、両市がまず実現させたいと願ったのが、青少年相互交流でした。昨年度（2013年度）および本年度の2か年計画で、昨年度はビルボールド市より青少年を迎えて、小松市の伝統文化である九谷焼を中心に、能や三味線といった伝統芸能・伝統楽器を体験してもらいました。本年度は小松市からの青少年派遣事業を、昨年受け入れたパートナーの家のホー

ムステイを中心に実施しました。ヨーロッパならではのレンガや石造りの建物が立ち並ぶ街並みの中で、音楽、食といった身近な文化における違いを感じてもらいました。

友好庭園の相互寄贈

また、今回の記念事業に先立ち、2011年にビルボールド市長と小松市長の間で、ローズガーデンと日本庭園の相互寄贈が提案されました。2012年度には相互に調査団を派遣し、両庭園建設のための打ち合わせが行われました。基本の工事は両市がそれぞれ行い、最後の仕上げの部分で、再度技術者を派遣し、造園技術の交換を行うとともに、作業などを通じての交流が実現しました。

この完成した庭園を中心に、ベルギー・ビルボールド市との友好関係を市民に広く知らせたい、この思いから、両市における記念事業は庭園のオープニング式典を中心に企画されました。



小松市内にオープンしたローズガーデンでの式典



ビルボールド市内ドリ・フォンテイネン公園にオープンした日本庭園

文化紹介イベント「スイート・ベルギー」

小松市で実施した記念事業は、ビルボールド市から寄贈いただいたローズガーデンのオープニン

グ式典および両市の友好関係を再確認する記念式典並びに、ベルギーおよびビルボルド市の文化と友好関係を広く市民に知ってもらう記念イベントでした。

記念イベントはバラのほか、ベルギーと聞いて人々が思い浮かべる「音楽」や「食」で構成し、単なる文化紹介ではなく、小松市とベルギーおよびビルボルド市とのつながりが感じられることを念頭に企画しました。また多くの人に来場いただきたいという思いから、「スイート・ベルギー」と名づけ、女性や学生の層が興味を惹かれるように広報を工夫しました。

「音楽」のテーマでは、(公財)フランダースセンターにご協力いただき、ベルギー出身のフルート奏者の方と日本の箏奏者の方の共演によるミニコンサートを実施しました。小松市の指定文化財である絢爛豪華な曳山の展示の前に設置したステージに、小松市内のアロマオイル講師がバラのアロマオイルで香り付けをすることで、ベルギー、日本、小松の新旧の文化が重なり合った空間が実現しました。

また同会場にて同じくフランダースセンターのご協力を得てベルギービールの販売を実施しました。フルートと箏の音色が織り成すハーモニーを聞きながら、ベルギーのビールを楽しめるという、大変贅沢な会場を作り上げることができたのではないかと思っています。

「食」のテーマでは、小松市内の菓子業者の方にご協力いただき、ベルギー産チョコレートを使用したスイーツを会場に集め、来場者が事前購入制のチケットと引き換えに好みのスイーツを選び楽しむバイキング制としました。チケット制にしたことで、来場人数の確保と把握が可能となりました。

さまざまな企画で盛りだくさんとなった小松市での記念イベントは大変盛況に終えることができました。この成功を大きく支えてくれたのは小松市の市民力だったと思います。実は上記内容のほかに会場内に「ベルギー」、「チョコレート」、「バラ」をテーマとする体験コーナーを設置していました。これは小松市の女性起業家の有志が集まっ

て作られた団体「グループ小まめ」により実現したもので、家族連れの来場を想定し、親子で楽しめるチョコレートフォンデュや簡単にバラのモチーフが作成できる布花クラフトを体験してもらいました。さらに市内の書店に協力いただき、ベルギー出身の絵本作家が描いた絵本の読み聞かせと販売を行いました。



市民力によりぎわうベルギー体験ブース

事業の成果、今後の展望

小松市では姉妹都市をパートナーと捉え、その文化を市民に紹介し、また青少年を中心とした相互交流を実施することで、多文化共生のまちづくりの実現を目指しています。また、行政同士のつながりに比重が高くなりがちな姉妹都市交流ですが、市民とともにより深い理解と友好関係を共創していくことを目指しています。

今回実施した小松市およびビルボルド市における両市の文化アピールと交流は、海外の文化を身近に楽しみ、親しみを感じるきっかけとなるとともに、日本の伝統文化や庭園の造形美に対する誇りや自信につながっていくと考えています。

一昨年度のイギリス・ゲイツヘッド市との姉妹都市提携20周年記念事業の際も感じましたが、こうした提携の周年記念をきっかけとしてさまざまな分野にわたる事業を実施することで、姉妹都市交流の意義がぐっと高くなるように感じています。今後は今回の40周年記念事業で実現した交流が末永く続くように、青少年交流を中心に、テーマある事業を市民と一緒に実施していきたいと思います。